



2024年5月8日

各位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表執行役社長 山浦 敦
(コード番号 7951 東証プライム)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 杉山 啓子
(TEL 053-460-2210)

2024年3月期 決算の概要と2025年3月期 業績予想について[IFRS]

□ 2024年3月期 決算の概要 — 増収・減益 —

2024年3月期の売上収益は、デジタルピアノの需要回復が遅れたことや、中国市場の市況低迷の長期化により、楽器の販売が伸び悩んだものの、法人向け音響機器の販売好調に加え、為替の円安による影響もあり前期に対し115億円(2.5%)増加の4,629億円となりました。事業利益は、楽器事業の売上減少と在庫削減のための生産調整などにより、前期に対し122億円(26.6%)減少の337億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する当期利益は、中国とインドネシアのピアノ製造工程に対する32億円の減損損失を含む、構造改革費用43億円を計上したことなどから、85億円(22.4%)減少の296億円となりました。

<事業セグメント別の売上収益・損益の状況>

● **楽器事業**

売上収益 3,052億円(前期比 0.8%増) 事業利益 253億円(前期比 30.1%減)

アコースティックピアノは、中国での販売不振が響き減収となりました。電子楽器は、デジタルピアノが需要減および市場在庫が多く出荷が進まなかったことにより減収となりました。管弦打楽器は、堅調な需要により大幅な増収となりました。ギターは、エレキギターの販売が好調に推移したことと買収したコルドバ社が加わったことにより大幅な増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前期に対し、実質減収であったものの為替の円安により、25億円の増収となりました。事業利益は、実質減収と在庫削減のための生産調整などにより、109億円の減益となりました。

● **音響機器事業**

売上収益 1,211億円(前期比 12.5%増) 事業利益 64億円(前期比 84.9%増)

個人向け事業は、市況の低迷が継続し減収となりました。法人向け事業は、業務用音響機器の旺盛な需要と新商品効果により大幅な増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前期に対し135億円の大幅な増収となりました。事業利益は、29億円の増益となりました。

● **部品・装置、その他の事業**

売上収益 366億円(前期比 11.1%減) 事業利益 19億円(前期比 68.9%減)

電子デバイスは、車載オーディオの採用拡大により増収、ゴルフ用品は、大幅な減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前期に対し46億円の大幅な減収となりました。事業利益は、43億円の減益となりました。

□ 2025年3月期業績予想 — 構造改革効果などにより増益を予想 —

市況が引き続き不透明な中、中国の市況低迷を踏まえ、売上収益は前年並みを予想するものの、モデルミックスの改善や構造改革によるコストダウン効果などを織り込み、2025年3月期の通期業績予想は、売上収益4,650億円（前期比0.5%増）、事業利益450億円（前期比33.7%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益340億円（前期比14.7%増）といたします。

なお、本予想における想定為替レートは、対USドル145円、対ユーロ155円です。

注1) 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

注2) 文章中の売上収益、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2024年3月期業績資料 <IFRS>

ヤマハ株式会社
2024年5月8日

(1) 主要財務指標

	前期実績 ^(※8)	当期予想 ^(※7)	当期実績	次期予想
	23年3月期	24年3月期	24年3月期	25年3月期
売上収益	4,514億円	4,600億円	4,629億円	4,650億円
うち国内	1,086億円 (24.1%)	1,087億円 (23.6%)	1,092億円 (23.6%)	1,081億円 (23.2%)
うち海外	3,428億円 (75.9%)	3,513億円 (76.4%)	3,537億円 (76.4%)	3,569億円 (76.8%)
事業利益 ^(※1)	459億円 (10.2%)	340億円 (7.4%)	337億円 (7.3%)	450億円 (9.7%)
営業利益	465億円 (10.3%)	315億円 (6.8%)	290億円 (6.3%)	450億円 (9.7%)
税引前利益	506億円 (11.2%)	370億円 (8.0%)	376億円 (8.1%)	465億円 (10.0%)
当期利益 ^(※2)	382億円 (8.5%)	290億円 (6.3%)	296億円 (6.4%)	340億円 (7.3%)
為替レート(決済レート) ^(※3)	136円/US\$ 136円/EUR	143円/US\$ 146円/EUR	144円/US\$ 146円/EUR	145円/US\$ 155円/EUR
ROE	8.8%	6.1%	6.1%	6.6%
ROIC ^(※4)	7.8%	5.6%	5.5%	6.4%
ROA	6.5%	4.7%	4.7%	5.1%
1株当たり利益	222.6円	171.6円	175.7円	206.9円
設備投資額 (減価償却費)	205億円 (131億円)	315億円 (140億円)	271億円 (138億円)	200億円 (150億円)
研究開発費	251億円	255億円	269億円	270億円
(キャッシュフロー)				
営業活動	△148億円	550億円	438億円	720億円
投資活動	△216億円	△270億円	△159億円	△250億円
フリーキャッシュフロー	△364億円	280億円	279億円	470億円
期末在庫高	1,537億円	1,570億円	1,641億円	1,420億円
(要員数)				
国内	5,573人	5,600人	5,532人	5,500人
海外	14,454人	14,500人	14,112人	14,000人
正社員計 ^(※5)	20,027人	20,100人	19,644人	19,500人
正社員外要員(期中平均)	8,225人	7,000人	6,871人	5,900人
(事業別売上収益)				
楽器	3,027億円 (67.1%)	3,050億円 (66.3%)	3,052億円 (65.9%)	3,050億円 (65.6%)
音響機器	1,076億円 (23.8%)	1,180億円 (25.7%)	1,211億円 (26.2%)	1,220億円 (26.2%)
その他	411億円 (9.1%)	370億円 (8.0%)	366億円 (7.9%)	380億円 (8.2%)
(事業別事業利益 ^(※1))				
楽器	362億円	265億円	253億円	315億円
音響機器	35億円	50億円	64億円	110億円
その他	62億円	25億円	19億円	25億円

(2) 売上収益の内訳(事業別、地域別)

24年3月期 (23/4月-24/3月)	楽器		音響機器		その他		合計	
	売上収益	前期比 ^(※6)	売上収益	前期比 ^(※6)	売上収益	前期比 ^(※6)	売上収益	前期比 ^(※6)
日本	596億円	101%	312億円	102%	184億円	95%	1,092億円	100%
北米	840億円	95%	303億円	116%	77億円	101%	1,220億円	100%
欧州	622億円	101%	315億円	105%	2億円	77%	939億円	102%
中国	428億円	82%	55億円	85%	64億円	120%	548億円	86%
その他	565億円	95%	226億円	119%	39億円	39%	830億円	94%
合計	3,052億円	95%	1,211億円	108%	366億円	86%	4,629億円	97%

*1 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

*2 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

*3 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。

*4 ROIC＝税引後事業利益÷(親会社の所有者に帰属する株主資本＋有利子負債)

*5 要員数＝期末社員在籍数

*6 前期比は為替を除いた実質ベースでの前期比増減を表しています。

*7 当期予想は、2024年2月6日開催の取締役会において決議した自己株式取得の影響を考慮しておりません。

*8 当第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る取得対価の配分が完了したため、前期末の暫定的な会計処理の確定を行っており、前期末に係る主要財務指標については、これに伴う遡及修正の内容を反映しております。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。